

うなり

樋口さぶろお

龍谷大学工学部数理情報学科

現象の数学 B L08(2012-11-27 Tue)

今日の目標

- ① 初期条件のもとで、2 個の物体の連成振動の解を求められる
- ② うなりのグラフが描ける
- ③ うなりの周波数を求められる



<http://hig3.net>

Quiz 解答:連成振動の固有周波数, 固有モード
微分方程式は

$$\mathbf{x}'' = -K\mathbf{x}, \quad K = \begin{pmatrix} 2 & -2 \\ 1 & 5 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{x}(t) = \begin{pmatrix} x_1(t) \\ x_2(t) \end{pmatrix}$$

とかける.

K の固有値固有ベクトルは $\lambda = 3, 4$, $\mathbf{u} = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix}$ なので, 固有周波数 $\omega = \sqrt{3}, 2$. 固有モードは,

$$\mathbf{g}^{(1)}(t, \theta) = \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \end{pmatrix} \cos(\sqrt{3}t - \theta) \quad \text{と} \quad \mathbf{g}^{(2)}(t, \theta) = \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix} \cos(2t - \theta)$$

一般解は固有モードの線形結合で

$$\mathbf{x}(t) = \begin{pmatrix} x_1(t) \\ x_2(t) \end{pmatrix} = C^{(1)} \begin{pmatrix} 2 \\ -1 \end{pmatrix} \cos(\sqrt{3}t - \theta^{(1)}) + C^{(2)} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \end{pmatrix} \cos(2t - \theta^{(2)})$$

ここで $C^{(1)}, C^{(2)}, \theta^{(1)}, \theta^{(2)}$ は任意定数.

初期条件より,

$$\mathbf{x}(t) = \begin{pmatrix} 4 \\ -2 \end{pmatrix} \cos(\sqrt{3}t) + \begin{pmatrix} -2 \\ +2 \end{pmatrix} \cos(2t)$$

Quiz 解答:3 点の連成振動

- ① 運動方程式は,

$$mu_1'' = -Ku_1 - k(u_1 - u_2)$$

$$mu_2'' = \quad \quad \quad + k(u_1 - u_2) - k(u_2 - u_3)$$

$$mu_3'' = \quad \quad \quad \quad \quad \quad \quad + k(u_2 - u_3) - Ku_3$$

- ② $m = 1, k = K = 1$ より

$$\begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \\ u_3 \end{pmatrix} = -K \begin{pmatrix} u_1 \\ u_2 \\ u_3 \end{pmatrix}, \quad K = \begin{pmatrix} +2 & -1 & 0 \\ -1 & +2 & -1 \\ 0 & -1 & +2 \end{pmatrix}.$$

- ③ K の固有値は, $\det(\lambda E - K) = 0$ を解いて, $\lambda = 2 - \sqrt{2}, 2, 2 + \sqrt{2}$.
よって, 固有周波数は $\omega = \sqrt{2 - \sqrt{2}}, \sqrt{2}, \sqrt{2 + \sqrt{2}}$.

- ④ これらの λ に対応する固有ベクトルは, $(\lambda E - K)\mathbf{a} = \mathbf{0}$ を解いて,

$$\mathbf{a} = \begin{pmatrix} 1 \\ +\sqrt{2} \\ 1 \end{pmatrix} s, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} s, \begin{pmatrix} 1 \\ -\sqrt{2} \\ 1 \end{pmatrix} s \quad (s \in \mathbb{R})$$

よって, 固有モードはそれぞれ,

$$\mathbf{g}^{(1)}(t, \theta^{(1)}) = \begin{pmatrix} 1 \\ +\sqrt{2} \\ 1 \end{pmatrix} \cos \left(\sqrt{2 - \sqrt{2}}t - \theta^{(1)} \right),$$

$$\mathbf{g}^{(2)}(t, \theta^{(2)}) = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} \cos \left(\sqrt{2}t - \theta^{(2)} \right),$$

$$\mathbf{g}^{(3)}(t, \theta^{(3)}) = \begin{pmatrix} 1 \\ -\sqrt{2} \\ 1 \end{pmatrix} \cos \left(\sqrt{2 + \sqrt{2}}t - \theta^{(3)} \right).$$

アンケート

プチテスト前にどんな勉強?

- ① ノート, プリントを見直す
- ② TA, チューターに質問する
- ③ Quiz を解き直す
- ④ Quiz の解答を読む
- ⑤ 模範解答を作ろうプロジェクトの問題を解く
- ⑥ 模範解答を作ろうプロジェクトに投稿された解答を読む
- ⑦ 過去のプチテストの問題を解く
- ⑧ 過去のプチテストの問題の解答を読む

アンケート

プチテスト 10 問のうち何問くらいが想定内でしたか？

- ① 1 問または 0 問
- ② 2 問
- ③ ∷
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧ ∷
- ⑨ 9 問
- ⑩ 10 問

Quiz(連成振り子の運命)

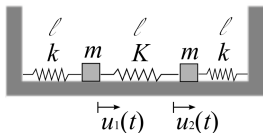
2個の物体の連成振り子の、左側だけを持ち上げて手を放すと?

- ① 左側の振り子が揺れ続ける
- ② だんだん両側が同じように揺れるようになっていく
- ③ だんだん両側が反対に揺れるようになっていく
- ④ だんだん右側の振り子だけが揺れるようになっていく
- ⑤ 左側 → 右側 → 左側 → 右側 → … と大きく揺れる側が交代する
- ⑥ 大爆発する

うなり

弱いばね K でつながった, 対称な 2 個の物体を考えよう ($K \ll k$).

固有周波数, 固有モードを求め, 初期条件 $u_1(0) = a, u_2(0) = u_1'(0) = u_2'(0) = 0$ のもとで運動を求めよう.



どんなグラフ?

和積公式 (暗記するな危険)

$$\cos \alpha + \cos \beta = + 2 \cos \frac{\alpha+\beta}{2} \cos \frac{\alpha-\beta}{2}$$

$$\cos \alpha - \cos \beta = - 2 \sin \frac{\alpha+\beta}{2} \sin \frac{\alpha-\beta}{2}$$

$$\sin \alpha + \sin \beta =$$

$$\sin \alpha - \sin \beta =$$

加法定理

$$\sin(A \pm B) = \sin A \cos B \pm \cos A \sin B$$

$$\cos(A \pm B) = \cos A \cos B \mp \sin A \sin B$$

で, $A + B = \alpha$, $A - B = \beta$ と思って和や差を作って導く方が安全.
 右辺に係数 2 が必要なのは当然. 左辺は最大 2, 右辺の $\cos \cos$ は最大 1 の量だから.

$$\omega^{(1)} = \sqrt{\frac{k}{m}} < \omega^{(2)} = \sqrt{\frac{k+2K}{m}}.$$

$$u_1(t) = \frac{a}{2} [+ \cos(\omega^{(1)}t) + \cos(\omega^{(2)}t)] = +a \cos \frac{\omega^{(1)} + \omega^{(2)}}{2} t \cos \frac{\omega^{(2)} - \omega^{(1)}}{2} t$$

$$u_2(t) = \frac{a}{2} [+ \cos(\omega^{(1)}t) - \cos(\omega^{(2)}t)] = +a \sin \frac{\omega^{(1)} + \omega^{(2)}}{2} t \sin \frac{\omega^{(2)} - \omega^{(1)}}{2} t$$

固有周波数の差 (うなりの周波数)

$$\omega_{\text{beat}} = \omega^{(2)} - \omega^{(1)} = \sqrt{\frac{k+2K}{m}} - \sqrt{\frac{k}{m}} > 0$$

固有周波数の平均 $\omega_{\text{av}} = \frac{1}{2}(\omega^{(1)} + \omega^{(2)}) \simeq \sqrt{\frac{k}{m}}$ とおくと,

K が k に比べて小さい $\rightsquigarrow \omega^{(1)} \simeq \omega^{(2)} \simeq \omega_{\text{av}} \gg \frac{1}{2}\omega_{\text{beat}}$

単振動 $\omega_{\text{av}} \gg \frac{1}{2}\omega_{\text{beat}}$ 単振動

$$u_1(t) = a \cos(\omega_{\text{av}}t) \cos\left(\frac{1}{2}\omega_{\text{beat}}t\right)$$

$$u_2(t) = \text{$$

Quiz(和積公式とうなり)

$x(t) = \cos 9t + \cos 7t$ の, 区間 $0 \leq t \leq 2\pi$ でのグラフを描こう.

うなり

2つの物体をつなぐばね K が弱いとき (=2つの固有周波数 $\omega^{(1)}, \omega^{(2)}$ の差が小さいとき) に起きる.

うなりの周波数 $= \omega_{\text{beat}} = |\omega^{(1)} - \omega^{(2)}|$.

うなりの周期

=

= 速い周期の振幅が最大になる時間間隔

= 遅い単振動の周期の $\frac{1}{2}$ 倍 $= 2\pi/\omega_{\text{beat}}$

うなりのシミュレーション

2 物体の連成振動のシミュレーション (nbp)

http://www.a.math.ryukoku.ac.jp/~hig/course/mathphb_2010/coupled2.html

うなりのシミュレーション (CDF)

http://www.a.math.ryukoku.ac.jp/~hig/course/mathphb_2011/beat.cdf

うなりのサウンドファイル

[http:](http://)

[//homepage3.nifty.com/kuebiko/science/freestdy/NouUnari.htm](http://homepage3.nifty.com/kuebiko/science/freestdy/NouUnari.htm)

音叉によるうなりの動画

<http://www.youtube.com/watch?v=BsG6zbdJbpA>

Quiz(連成振動の固有モード)

2個の物体の連成振動の固有モードについて、正しいものすべてを選ぼう

- 1 固有モードを時間の関数と見ると、三角関数で表せる
- 2 固有モードを2次元ベクトルとしてみると、つねに同じ方向を向いている
- 3 固有モードの周波数は時間とともにだんだん減少していく
- 4 固有モードの振幅は時間とともに増加、減少を繰り返す
- 5 各固有モードは、それぞれ、ただ1つの固有周波数を持つ

Quiz(うなり)

$x(t) = 2 \cos 6t + 2 \cos 8t$ のグラフを, 三角関数の和積公式を利用して $0 \leq t \leq 2\pi$ の範囲で描こう. x, t 軸の目盛を忘れずに記そう. 描くのに使った補助線を残そう.

連絡

ACM-ICPC 国際大学対抗プログラミングコンテストに出よう

<http://www.a.math.ryukoku.ac.jp/~hig/icpc/>

今日の範囲に対応する教科書のお奨め問題

小形 p.18-38

- うなり 小形 2 章演習問題 [5](p.39)
- うなり 小形 2 章演習問題 [6](p.39)
- うなり 小形 2 章演習問題 [7](p.39)

次回の予習ポイント

- 三角関数の半角の公式
- 三角関数の和積公式

予習復習問題

水から月曜夜までに e ラーニングシステムでやってね～